

## 主な活動（居住支援、生活支援、身元保証支援）実績（R8.5.1現在）

### 令和7年度からの主な活動実績 【生活支援】

生活支援をした者（家族）	相談者（相談先）	生活支援をした内容
身寄りがいない、知的障害、生活保護、70歳男性	訪問看護の代表者	何度もスマートフォンが使えなくなったりするため、その度にショップにてSIM交換などするも効果はなく、最終的にはガラケーを用意して連絡の確保をしてあげた
身寄りがいない、精神障害、生活保護、30代男性	ヘルパーの担当者	転居するにも生活困窮のため冷蔵庫や布団などの大物を引越し業者に依頼することができず、また故障している洗濯機の廃棄処分にも手続きや搬送ができないことから、私の軽バンにて搬送や廃棄処分をすることにより費用を抑えることができた
家族と疎遠、精神障害、身体障害、生活保護、60代女性	本人	洗濯機の排水不調や水漏れがあり困っていると相談があり、洗濯機の排水点検と蛇口のアタッチメント交換により問題を解決する 電球が切れてしまったが股関節の障害があることから自ら交換はできないので私が交換をして解決する
家族と疎遠、精神障害、身体障害、生活保護、50代女性	本人	両足の麻痺で車椅子生活のため定期通院の同行や買い物などの支援をしている 転倒して動けなくなったとか携帯電話での連絡（ラインなど）がないなどの安否確認ができるように部屋のスベリアキーを預かりながらの見守りをしている
身寄りがいない、身体障害、多重債務、60歳女性 （入居後に生活保護となる）	本人	両名とも身寄りが見守りなどのサービスを受けていないことから、室内での意識障害などによる安否確認や孤独死を防止するために部屋のスペースキーを預かりながらの見守りをしている
家族と疎遠、少年院を出所、20代男性	本人	何らかの障がいなのか頻繁に部屋や車の鍵を紛失することから、本人より「部屋と車のスペースキーを預かって欲しい」との依頼により、部屋と車のスペースキーを預かっている
身寄りがいない、精神障害、刑務所出所者、60代女性 （入居後に生活保護となる）	本人	B型事業所に通所しているが、身支度を整えるための姿鏡が欲しいのと、衣替えのための衣装ケースが欲しいとの相談により、SNSにて安価に購入することができた

家族と疎遠、精神障害、 身体障害、生活保護、 50代男性、元反社所属	本人	生活保護に依存したくなく何らかの仕事を探したり、買い物などの移動のために自転車が必要との相談を受けたことから、SNSにて無料の折り畳み自転車があったことから交渉をして譲り受けることができた
天涯孤独、知的障害、20代男性	私の提案	天涯孤独で知的障害のため休日は部屋に閉じこもりがちで、そのため居住支援をしている家財がない女性のためにSNSにて購入した大型の冷蔵庫とタンスを運ぶために、搬送の手伝いを頼んだところ喜んで手伝ってもらい、人のために何かをやる喜びを学んでもらった
生活保護の他国籍の母親と同居、 知的障害、10代男性	支援機関	初めての独り暮らしで、4月1日からは仕事が始まることから支援機関の依頼もあり、男性の委任により「転出や転入の手続き」などをする
親と絶縁、生活困窮、20代男性 (入居後に生活保護となる)	見守り	訪問による見守りを行うも不在であり、何度かの電話連絡をしたところ「持病が悪化し仕事も探せず、うつ病になってしまった」とのことで、今後は福祉機関と連携しての支援を行う
親族と疎遠、刑務所出所者、 精神障害、40代男性 (入居後に生活保護となる)	見守り	訪問による見守りを行うも不在であり、何度かの電話連絡をしたところ「気分が落ち着かずなかなか医療機関への受診が出来ていない」とのことで、引きこもり状態が続いており、福祉機関とのつながりも無いことから、今後は行政や福祉と連携して支援を行う
知的障害、生活保護、20代男性	本人	他人とのコミュニケーションが苦手ななか「B型事業所同行を退所したい」「自転車が壊れて困っている」と連絡があり、相談員と連携をしてB型事業所の手続きに同行し、自転車にあっては以前居住支援をした男性から提供を受けた自転車を男性に提供した
家族と疎遠、精神障害、 身体障害、生活保護、 50代女性	本人	両足の麻痺で車椅子生活のため定期通院の同行や買い物などの支援をしている 生活保護は行政間の移管にて行ったことから国保の手続きの遅延などにより本人が国保の請求があり、心配していた本人のために市役所並びに国保機関に連絡などをして解決をした
知的障害、20代男性	支援機関	養護学校を卒業後に就職をすることになったが、初めての独り暮らしで生活や金銭管理に不安があることから、支援機関並びに本人の依頼によりライフラインの支払いや通帳を預かっての金銭管理（契約書作成）を行う
身寄りなし、身体障害、 生活保護、60代女性	見守り	過去に脳梗塞を患い、更に歩行も厳しい状況であったことから、何らかの福祉サービス（ヘルパーや訪問看護など）が必要と考え、市役所並びに地域包括支援センターと連携して福祉サービスを受けるための支援を行う
身寄りなし、知的障害、 身体障害、生活保護、 70代男性	見守り	自宅には固定電話もなく、持っていた携帯電話も使用不能により解約となってしまったことから緊急時の連絡手段がなく、NTTなどは固定電話の導入費用が高いことから地元のケーブルテレビによる固定電話の導入に向けて、大家やケーブルテレビとの調整を行う

家族と疎遠、少年院を出所、 20代男性	本人	絶えず昔から関係がある仲間や仕事の人間関係などでトラブルも多いことから、電話やラインや面談により悩みやトラブルの相談を受けて、問題解決や今後のことなどについて具体的なアドバイスを行う
知的障害、20代男性	本人、支援機関	郵便物の不在引き取り、運転免許証の日曜日による住所変更手続き、福祉サービスのための診断（医師の意見書）のための通院などの同行支援を行う
家族と疎遠、精神障害、 身体障害、生活保護、 60代女性	本人、相談員	脳動脈関係の検査入院が必要となる可能性があり、身寄りがいないことから、本人並びに相談員より「今後の通院同行や入院時における身元保証をお願いしたい」と相談があり、通院同行支援や身元保証（契約書作成）を行う
同居の息子からのDV被害、 70代女性	本人、支援機関	同居している息子からの精神的なDV被害を受けている（警察沙汰にもなっている）ことから、別の場所で安心した生活をする必要性があり、居住支援を含めた安心・安全な生活に向けて支援を機関と連携・協力をしながら対応をしている
自宅を強制退去、生活保護、 30代男性	本人	居住支援により新しい賃貸物件に入居するも、本人より「寝る布団などもなく、カーテンや照明器具も付いてなく、物干し竿もないので洗濯も干せない、またガスコンロがないので調理ができなくテーブルと椅子がないので食事も床で食べている。」と相談があり、直ぐにSNSサイトやリサイクルショップなどにて金銭的にも負担をかけることなく生活用品などをそろえることができた
前科多数、生活保護、50代男性	本人	居住支援した後も、身を寄せていた女性と破局して生きる希望や今後の生活や就労などについての相談があり、身を寄せていた女性からの情報共有を得ながら、この男性について今後の生活や就労などについて面談をしながら、どのような寄り添って行くかを進めている
刑務所を出所した高齢男性		居住支援のため矯正施設にて2回面談を行ったが、最終的には本人からは直接の出所後の居住支援や生活支援は拒否されたが、矯正施設からの依頼もあり再犯防止や生活支援のため本人が住んでいる自治体の福祉課と情報共有や連携しながら本人の再犯防止や生活支援を見守りながら進めている
家族と疎遠、精神障害、 身体障害、生活保護、60代女性	本人	脳動脈関係の検査入院が必要となる可能性があり、身寄りがいないことから、2回目の通院同行をして精密検査のための保証人（連盟の同意人）や入院検査における身元保証人となり、手術に向けての入院検査をすることになった
身内と疎遠、生活保護、 精神障害、身体障害、50代女性	本人	長年の施設生活からひとり暮らしのための居住支援や生活支援（通院同行など）をしている女性から「生活保護を受けるかなり前に長期入院をしていた高額入院費の関係で東京の弁護士事務所から督促状が届いている。」と相談があり、本人の依頼もあって法テラスにて相談の同行をしながら、今後の返済方法などについて良い解決ができるように支援をして行く

身寄りがいない、少年院に何度か入所している、20代男性	本人、大家	度重なる問題行動や家賃未納などから大家から退去指示を受け、居住の支援はできなかったものの、退去期限までに部屋の家などの撤去や清掃などの支援をして、大家と揉めることなく退去することができた
身内と疎遠、生活保護、精神障害、身体障害、50代女性	本人	日曜日に、車椅子の生活をしている女性より「洗濯機の下から水が漏れている」「トイレが詰まってしまった」との連絡を受け、急用な対応が必要と判断しラバーカップを持参してトイレ詰りを解消したり、洗濯機の水漏れにあっても応急的な処置をした
身寄りがいない、生活保護、精神障害、身体障害、60代女性	本人	階段転倒から緊急入院となったが、身寄りもなく支援している団体や相談員では身元保証人が困難なことから私が身元保証人となり、HCUでの面会や差入れなどの対応をした
同居男性が行方不明となり生活や通院などが不安な20代女性	本人（メール）	Eメールにて「同居中（男性名義）の男性が何日も帰って来ないため、携帯料金が払えず生活や通院（うつ病）など出来ず不安です」と相談があり、その後はラインでつながりながら、他県で生活をしている女性であったため、私と交流がある他県の居住支援法人に引継ぎをして対応してもらっている
元反社の無断退去をして他県で生活をしている50代男性	本人（電話）	居住支援をさせてもらった部屋を無断退去し他県で生活をしている男性ではあるものの、時々、私を頼って生活や住居などについての電話相談を受けている
身寄りがいない、生活保護、身体障害、60代女性	本人	私にて生活保護の申請などをして生活保護を受けることになったものの、過去の脳梗塞の影響か体調など優れないことから、生活保護の担当者や地域包括支援センターと情報共有しながら訪問看護などの福祉サービスを受けれるように対応している
知的障害、20代男性	支援機関	今後の支援（資格取得や生活など）について、職場にて支援機関の担当者らと職場の担当者を交えて意見交換をする
生活保護、精神障害、身体障害、50代女性	本人	本人より「テレビの録画が出来なくなった」と連絡があり、直ぐに訪問をしてテレビを確認したところ、何らかの理由によりテレビのリモコン（純正品でないリモコン）の設定がリセットされていたので、再度、リモコンをテレビのメーカーの設定に合わせてたところ録画ができるようになった
生活保護、精神障害、60代女性、矯正施設の出所者	本人	クレジットカードを持っていないことから、お気に入りの韓国俳優のグッズや洋服などのネット購入ができないことから、私が変わってネット購入をさせてもらった

生活保護、精神障害、 身体障害、70代男性	本人、支援機関	持っていたスマートフォンを手放したことにより、行政や支援機関などとの連絡手段がなくなり、固定電話が良いとのことになったが、金銭的な負担が壁となっていたところケーブルテレビの固定電話が「初期費用や工事費がかからず毎月3,000円以下」と判明したことから、大家の同意やケーブルテレビとの契約や工事など全ての手続きを行った
身寄りがいない、生活保護、 精神障害、身体障害、50代女性	本人	月1度の通院と処方受取と買い物などの同行支援をする
生活保護、難病を持病があり、 小型犬と同居、70代女性	本人	借家からの引越しに伴い大量の不燃物があることから、費用を抑えるために弊社の軽バンにて行政の不燃物回収を利用して処分をする
生活保護、精神障害、60代女性、 矯正施設の出所者	本人	月1度の通院と処方受取と買い物などの同行支援をする
身寄りがいない、知的障害、 20代男性	本人	金銭管理を任されている者で、本人より「靴下に穴が空いたので靴下を買うためのお金がいる」と連絡があり、毎週の生活費を持って行く時に靴下購入のお金を渡そうとした時、来ていたシャツの襟首が黄色に変色していたことから、衣料品店まで本人を連れて新しいシャツと靴下の購入の同行支援をさせてもらった
20代男性、矯正施設の出所者	本人	本人より「使っている布団などの寝具を全て汚してしまったので至急用意してもらえない」と困っている様子であったことから、SNSサイトにて寝具を探していたところ寝具の投稿があったことから、私の事業のことを説明して取引を申込をしたところ直ぐに取引をしてもらい、翌日には男性に寝具を提供することができた
生活保護、難病を持病があり、 小型犬と同居、70代女性	本人	居住支援をした後の転居先は徒歩での買い物などが困難のため、その後、週1回の買い物と月1回の通院と小型犬の通院などの生活支援の依頼を受け同行支援をしている ※小型犬が通う動物病院はリニューアルしたと同時に予約などはアプリを使うこととなり、高齢女性はガラケーであることから弊社のスマートフォンにアプリ登録をして予約などの対応をすることで利便性が良くなった
生活保護、精神障害、 身体障害、50代女性	本人	夜遅くに「ブレーカーが落ちた後にエアコンがつかなくなった」と連絡があり、エアコン本体のところでのリセットやコンセントの抜き差しで対応ができると思っていたものの、同女性は車いす生活のため不可能であり、更にこの猛暑のなかエアコンがつかないと最悪命の危険性もあることから直ぐに駆け付けをしてエアコンのリセットをして正常にエアコンが作動することができた
生活保護、精神障害、60代女性、 矯正施設の出所者	本人	本人より「DVDプレイヤーが壊れた」と連絡があり、この女性はDVDプレイヤーにてお気に入りの韓国俳優のドラマを見ることを楽しんでいることから、生活保護でお金をかけられないのでSNSサイトで探し、私の事業のことやDVDプレイヤーが必要であることを説明したところ「無償」にて取引をしてもらった

身寄りがいない、生活保護、精神障害、身体障害、60代女性	本人	本人より「洗濯機が故障したようなので新しい洗濯機が欲しい」と相談があり、生活保護でお金の管理ができない方で、お金は社会福祉協議会にて金銭管理をしていることから同協議会の担当者や相談員と情報共有しながら、リサイクルショップにて新しい洗濯機の購入と設置と壊れた洗濯機の回収と処分を行いました
身寄りがいない、知的障害、20代男性	本人	本人は、1日も休むことなく片道約30分を自転車にて通勤しており、そのなかで「電動自転車って楽ですか?」と話があったことから、SNSサイトにて本人が希望する金額の電動自転車があり取引ができたので、本人が安心して通勤や生活に使用できるように、自転車屋にて整備と防犯登録と保険の契約をして乗ってもらうことにしました
身寄りがいない、知的障害、20代男性	本人	本人は家族や親類がいない天涯孤独の方で、相談員からも「親代わりのような存在でいてくれたら」と言われており、また本人も私のことを慕っているなか、ある日「明日、土用の丑の日ですよ」と話をしていたので、翌日、スーパーマーケットにて鰻を購入し、本人のアパートにて「うなぎ丼」にして雑談話をしながら楽しい時間を過ごしました
知的障害、20代男性	私からの提案	本人は「うつ病の疑い」により就労をすることなくアパートにてゲームなどをして引きこもっており、そのなかで身体的な障害ある方の居住支援にて引越しの支援をする時に、冷蔵庫や洗濯機の搬送を依頼され、その手伝いを本人に持ちかけたところ「やります。」と喜んで引越しの手伝いをしてもらった
就職している知的障害の10代男性	就労支援の担当者 相談員	男性の金銭管理や生活支援を任されているなか、就労して1ヶ月を経過したので、職場の総務担当者と就労支援の担当者と相談員が参加する「情報共有」の会議に参加をして、今後の支援対応などの話し合いをした
小型犬と生活をしている40代男性の飼い犬		新聞報道により「本人が犯罪行為にて逮捕された」ことを知り、飼っている小型犬の安否が心配であったことから、本人と小型犬の居住支援も時に連携・協力をした居住支援法人に直ぐに連絡を入れて、早期に放置状態であった小型犬を保護することができた
身寄りがいない、知的障害、20代男性	B型事業所の責任者 相談員	ハローワークでの認定手続きがあるものの、本人ひとりでハローワークに行くことが難しいなか、本人が通所するB型事業所の責任者と相談員から「本人から私とならハローワークに行ける」とのことで、私がハローワークに同行支援をした
生活保護、精神障害、身体障害、50代女性	支援機関	緊急入院措置となったことから、自宅に置いてある処方薬を入院施設まで搬送する
生活保護、元反社、50代男性	本人	インターネットやスマートフォンなどのネット知識がなく、引越しをしたアパートのWi-Fi接続が出来ないと相談を受けて、Wi-Fi接続の設定などを行う

生活保護、難病を持病があり、 小型犬と同居、70代女性	本人	昔の古くて重たいテレビの移動（部屋から部屋への移動）の依頼があり、テレビ2台の移動や映像の設定などを行う
身寄りが近くにいない、 精神障害、身体障害、60代女性	支援機関 遠方の親族	気軽に買い物や銀行などの外出を支援してくれるところを探しており、本人と支援機関と遠方の親族と顔合わせをし、その後、銀行用務や買い物などの生活支援を行った
軽い認知症、80代女性	支援機関	独り暮らしで軽い認知症もあることから、親族や支援機関も独りでの買い物などの外出が不安であり、そのなかで気軽に生活支援をしてもらえとのことで、買い物の同行支援や喫茶店での雑談などの同行支援を行った
身寄りがいない、生活保護、 精神障害、身体障害、60代女性	本人	本人より「ネット通販にて血圧計を購入して欲しい」と依頼があり、本人が希望する血圧計を代理でネットにて購入した（ネット購入にて購入費用を抑えることができた）
身寄りがいない、知的障害、 20代男性	本人	1日も休むことなく自転車にてB型事業所に通所していることから、本人に「自転車に乗る時はヘルメット着用が義務化されており、更に転倒などから頭を守るためにもヘルメットは大切」と話をしていたなか、ある日本人から「ヘルメットが欲しい」と連絡があったので自転車屋にてヘルメットを購入の同行支援をした ※この方は他人と外食をすることはないことから昼食を誘いカレーライスの外食を楽しんだ
知的障害、20代男性	支援機関	養護学校を卒業後に就職し独り暮らしをすることとなり、ヘルパーの支援を受けるための受給者証の手続きを支援機関から依頼をされ、受給者証を交付するための各種手続きを行う
身寄りがいない、知的障害、 20代男性	B型事業所の責任者 相談員	ハローワークでの認定手続きがあるものの、本人ひとりでハローワークに行くことが厳しいなか、本人が通所するB型事業所の責任者と相談員から「本人から私とならハローワークに行ける」とのことで、私がハローワークに同行支援をした
被災者、精神障害、60代女性	本人	住むところは確保したものの、自宅の焼失により生活費や食費が厳しいことから、水や食料などの緊急的な支援をする（行政や市議会議員などでは対応してもらえなかったため）
生活保護の母子家庭	本人	高校生の子供が通学中に自転車にて交通事故となり、自転車が損傷したことから通学の足が無くなってしまったことから、私がSNSにて無償で譲り受けた自転車を緊急的に貸与してあげた

身寄りが遠方の精神的と身体的な障害がある60代女性	福祉機関	身寄りが遠方で、精神的と身体的な障害のため買い物などの外出がなかなか困難であることから、福祉機関の担当者より「井田さんの会社の車は福祉車両で車椅子もあることから、この女性さんの楽しみである買い物や美容院などの外出の支援をして欲しい」と相談があり、本人と遠方の親戚と共に同行支援と生活支援の契約を締結して、買い物や美容院や銀行用務及び庭の雑草刈りなどの生活支援をした
被災者、精神障害、60代女性	本人	自宅の焼失により、障害者手帳やマイナンバーカードなどの福祉証明書や身分証明書などが焼失してしまったことから、各行政窓口での申請手続きに同行して各証明書の交付を受けることができた（本人の障害特性として窓口などの手続きにて口論などがあることから、私が同行することにより円滑に手続きをすることができた）
暴言などが酷い息子から距離を置くために別居した70代女性		私（弊社）の居住支援にて安心して生活することが物件の入居契約はしたものの、実家にはまだ家具や家電や生活用品が置いたままであったので、息子がいない時間帯を見計らって家財搬送の支援をした
身寄りがいない重度の知的障害の20代男性	本人	金銭管理や生活支援をさせてもらっているなか、本人より「ベルトが壊れたので新しいのが欲しい」と相談を受け、衣料品店にてベルト購入の同行支援をしたが、本人はベルトのサイズ合わせをすることなく購入しようとしたので、試着室にてベルトのサイズ合わせをして購入をしてもらった
矯正施設から退所した20代男性	本人	本人より「スマートフォンの画面が割れたりして通話やネットを見ることが出来なく困っている」「仕事をしているが生活はギリギリでスマートフォンの購入するお金も無い」と相談があり、私の子供が使っていないスマートフォンを貸してSIMカードを差し替えることにより通話やネットが正常に使えるようになった
身寄りがいない施設に入所中の70代男性	本人	身寄りがいなく身体的にも外出が不可能であることから雑誌の購入や銀行用務などの生活支援をした
矯正施設を出所した生活保護の精神的な障害がある60代女性	本人	通院していた心療病院から別の心療クリニックに通院することから、初診診察での同席など同行支援をした
生活保護の難病などがある70代女性	本人	難病の治療をしている病院と眼科の通院の同行支援
矯正施設を出所した身寄りがいない20代男性	警察署	知人との金銭的なトラブルにより警察にて任意取調べを受けており、今後の任意捜査のためにも身柄受人としての身元保証支援をした

精神的な障害がある20代男女	本人	身内や知人などいない知らない土地での生活をする事から、私と私の妻にて、生活のことだけではなく就労や通院などについても相談などの支援をすることとなった
脳梗塞の疾患がある車椅子生活の70歳女性	同居の家族	敷地内にて家族がいるものの、家族も子育てなどがあることから、祖母の自宅内での見守りや買い物などの生活支援の依頼を受けて、自宅内での話し相手や美容院・買い物・食事・映画鑑賞などの外出での同行支援を行い、月4回程の見守りが外出の生活支援を任される
生活保護の精神的な障害がある車椅子生活の60代女性	本人	銀行用務や買い物などの付き添いによる同行支援をした（途中、カフェにて飲み物を飲みながら雑談をする）
近くに身寄りがいない精神的な障害がある70代男性	本人	アパート暮らしで、部屋の日照が強いことから重たいベッドの移動を依頼されてベッドの移動などの生活支援をした
身寄りがいない重度の知的障害がある20代男性		1日も休むことなく自転車にてB型事業所に通所して頑張っていることから労いを兼ねて、本人が希望する焼肉を役肉専門店にて会話を楽しみながら一緒に食事をした
被災者、精神障害、60代女性		転居した借家にはテレビ回線やネット回線が無いことから、個別に回線の申込（契約）するよりもケーブルテレビの方が費用も抑えられることから、ケーブルテレビの申込や契約などの手続きの支援をした
生活保護の精神的な障害がある自力歩行が厳しい50代女性	社会福祉協議会	精神的な障害のため入退院を繰り返しているなかで、「自殺を仄めかす言葉」があることから、自宅内で生活をする場合の刃物類を触れないように相談があり、小型の手提げ金庫はどうかと提案して、それは良いという話になり包丁などが収納することが出来る小型の耐火金庫（本人が持ち運びできないように）を用意した
親族が遠方の身体的と精神的な障害がある60代女性	本人	両親と共に住んでいた古民家にて、不自由な身体にて生活をしており庭先や玄関先などの植木などが荒れ放題であり、「枝の剪定や雑草の除去をお願いしたい」と相談があり、電動草刈りなどを使って私の妻の手伝いもあり、ゴミ袋11袋分の枝や雑草の除去作業をした
被災者、精神障害、60代女性	本人	徒歩にて入院中の母親の面会と衣類などの差し入れに行く途中に車との交通事故に遭い、身寄りもないことから私が治療中の同行や治療後に帰宅などの支援をした
身寄りがいない脳梗塞などの障害がある70代男性	本人	転居（居住支援）に伴う、転出や転入やマイナカードなどの行政手続き並びに後期高齢者医療資格確認書などの変更手続き、更に銀行や運転免許証などの住所変更手続きの同行支援をする

暴力的な息子から距離を置くために、転居をした70代女性		息子から暴言などによる精神的な苦痛を受けていたことから、息子から距離を置くために居住支援や生活支援などを行っているなかで、多額の負債が判明し、弁護士事務所からの督促について、今後の返済について弁護士事務所と話をし、民事裁判を回避することが出来た
被災者、精神障害、60代女性	本人	交通事故により、毎週の入院中の母親の面会と差入れが困難となったことから、その同行支援や怪我により食料品など買い物が困難であることから、買い物などの支援をした
自室にて死亡した生活保護の精神的な障害があった40代男性	家族（母親と姉）	自室にて死後数か月が経過していたことから、警察（検視）や葬儀などの手配をしたり、更に、残置物処分や特殊清掃などの手配や口座凍結並びに市役所にて、母親と共に死後の生活保護や年金などの手続きを同行支援をする
精神的と身体的な障害がある70代の兄妹	ケアプランセンターの担当者	兄妹を自宅から施設への入居の同行支援や、施設入居後の通院や買い物などの同行支援をする
精神的な障害がある20代男女	本人	ふたりとも、預貯金も少ないことから「働けるところはないですか」と相談を受けて、ハローワークの検索システムなどを活用しながら、何件かの求人某集を紹介したり知り合いの内職への紹介などの就労支援をした
精神的と身体的な障害がある施設入所中の70代男性	ケアプランセンターの担当者	ケアマネジャーから「これまで遠方の歯医者に通院していたことから訪問治療をできないか主治医に相談してほしい」と依頼を受け、通院同行の時に主治医に「施設での訪問治療」を相談したところ、理解をしてもらえ施設への往診などの訪問治療をしてもらえることになった
身寄りがいない身体的な障害がある70代男性	本人	本人から「歩行器にて買い物の外出をしたが道に迷ってしまい家（アパート）に帰れない」と電話があり、直ぐに駆け付けをしてケガなどの異常の有無を確認し、問題などなかったことから本人と歩行器を車に同乗させて無事に家まで送り届けるとともに、今回の出来事をケアマネジャーなどの関係者に情報の共有をさせてもらった
生活保護の精神的な障害がある70代女性	本人	現在、B型事業所にて作業を続けているなか「知的障害がある同僚の男性から卑猥な画像を送られてくる」「事業所に相談しても解決（納得できない）には至っていない」と相談があり、私の警察官（主に刑事）としての知識と経験を生かしてアドバイス（助言）をしたところ、警察沙汰などになることなく解決をすることができた
生活保護の精神的と身体的な障害がある50代女性	本人	通院同行をしたときに、ATMでの家賃を支払い（入金）をし通帳記帳をしたところ「二重の支払い」が疑われ、私が代理人として家賃保障会社と確認や交渉をしたところ、二重の支払いを確認することができ返金をしてもらえることができた

精神的と身体的な障害がある施設入所中の70代男性	本人 施設の担当者	本人は会話などが厳しい障害のため、施設の担当者から「本人から携帯が…と言われているが内容がよく分からない」と困っている様子であったので、私が施設内にて本人と筆談にて状況を聞いたり本人のスマートフォンを確認したところ、アプリのダウンロードによるウイルス感染が疑われたので、直ぐに携帯ショップの予約をとってスマートフォンを見てもらいアプリ削除などにより問題を解決することができた
身寄りがいない精神的な障害がある60代女性	本人	自宅が全焼した後の居住支援や生活支援をしているなかで、本人の収入は障害年金のみで、更に精神的な障害のため就労もできないなか、家族同然の猫を飼っており、そのままでは家賃の支払いや生活費などの不安があることから、生活保護の申請の同行支援をされてもらった
身寄りがいない身体的と精神的な障害がある60代女性	本人	名古屋市内での飲食と買い物などの同行援助の依頼を受け、身体的な障害のため本人は車椅子での移動が必要であることから、車椅子が載せてある弊社の福祉車両での移動と各お店までは車椅子を使うことにより、今まであきらめていた飲食や買い物を楽しんでもらえた
身寄りが遠方の重度の精神的な障害がある70代男性	施設の担当者	私が身元保証人となることで施設に入所した方は重度の精神的な障害があり、施設に入所した夜に施設の担当者より「個室（自室）にて食事ができると聞いてここを選んだのに他の者と一緒に食堂で食事をするとは聞いておらず契約違反なので退去すると言って困っている」と連絡があり、直ぐに施設に駆け付けて本人と話をさせてもらったことで本人も落ち着き冷静になって、食堂にて食事をするようになったり、その後も特にトラブルなどなく生活をするようになった
生活保護の難病を抱えている70代女性		車は所持していないなか本人より「今後、免許証の更新があるため自動車学校の同行をお願いしたい」と連絡があったが、本人は生活保護のなか障害年金と保護費にて生活をしており、今回の免許更新あっても費用がかかるなどの説明をしたところ「免許証は亡くなった主人との思い出があり手放すことができない」と話しており、そのため私が有効期限内の免許証返納なら運転免許証明書が無料で発行されるなどの説明をしたところ、更新のキャンセルと免許証の返納も決めてもらった
生活保護で重度の精神的な障害がある60代女性	本人	本人から「いつも使っているウィッグが古くなり新しいものを新調したい」と相談があり、本人の金銭管理は社会福祉協議会が担当していることから、担当者に「私がネットにて代理購入をすれば購入費用も抑えられる」と説明をし本人と担当者から了承を得たことから購入をして、本人からも「外出など女性としての身だしなみができるので本当にありがたいです」と感謝してもらえた

<p>息子夫婦と同居している車椅子生活の70代女性</p>	<p>ケアマネジャー、本人、家族</p>	<p>脳梗塞により車椅子生活となっている高齢女性は、息子夫婦と同居しているものの、息子夫婦も仕事や子育てがあるため、私が見守り支援をすることにより、外食・美容院・買い物・映画鑑賞・パーティ参加など、今まで出来なかった（かなえられなかった）ことが出来るようになった</p>
<p>施設入所中の言語障害や身体障害がある70代男性</p>	<p>ケアマネジャー、本人</p>	<p>ケアマネジャーから「施設に入所したばかりの言語障害や身体障害がある高齢男性の通院や買い物や銀行などの同行支援をお願いしたい」と相談があり、本人と面談したところ、私の同行支援（同行援助）を承諾してもらえ、その後は、各種行政手続きや銀行用務や買い物などの支援をさせてもらっている</p>
<p>身寄りがいない精神的な障害がある施設入所中の70代男性</p>	<p>包括の担当者、本人</p>	<p>施設入所後も、精神的な障害があることから通院や買い物なども他人（知らない人）には頼むことはなく、そのなかで良好な関係を築いた私となら「安心して任せられる」などと通院や買い物などの同行支援（同行援助）を任せられている</p>
<p>息子夫婦と同居している車椅子生活の70代女性</p>		<p>キャッシュカードの磁気不良により使用が出来なくなったことから銀行にて再発行の手続きをするもマイナンバーカードなどの身分証明書がなく、有効期限が過ぎた紛失した運転免許証があるとのことであったので、講習センターにて運転免許証の執行手続きと同時に身分証明書となる「運転免許経歴証明書」の交付を受けることにより、新しいキャッシュカードを作ることができた</p>
<p>生活保護の難病を抱えている70代女性</p>		<p>車を所有していないなか運転免許証の更新があることから、更新手続きなどの費用もかかることから更新をしなくても（運転免許証の返納）良いのではと話をすると「運転免許証は亡くなった主人との思い出があるので返納はしたくない」と話をしたので、身分証明書となり運転免許証にある記載事項が記載されている「運転免許経歴証明書」のことを説明し、講習センターにて同証明書の交付を受け「更新の費用も抑えられ主人との思い出も無くなることなく、ありがとうございました」と感謝された</p>
<p>身寄りがいない精神的な障害がある施設入所中の70代男性</p>		<p>本人の携帯電話での連絡が取れなくなったことから、入所している施設に確認したところ「広告ばかり出て携帯が使えない」とのことで、不審なアプリケーションをインストールしたことによる不具合（強制広告表示）と思い、施設に行き不審なアプリケーションをアンインストールすることにより正常に携帯電話を使用することができた</p>

生活保護の精神的と身体的な障害がある60代女性	本人	本人より「4月から今使っている携帯電話が使えなくなるのでどうしよう」と相談があり、3G回線の携帯電話のサービスは3月末で終了であることから、早急に4G回線対応の携帯電話（ガラケータイプ）を探して、既存のSIMカードのまま用意したガラケータイプの携帯電話を使用することができて、本人もとても喜び安心してもらった（スマートフォンは使いこなせないことからガラケータイプにした）
息子と同居している身体的な障害がある70代女性	ケアマネジャー、息子	同居している息子はトラック運転手をしていることから、身体的な障害がある母親の通院同行は難しいなか、ケアマネジャーを通じて通院同行（同行援助）の相談を受け、その後、受付や検査や診察の同席などの通院支援をすることになった
身寄りがない70代女性		借家を強制退去となり、居住支援をしたものの、家具や家電や生活用品がないため、私の方にて家具や家電や生活用品を提供し、更に食料品なども提供をした
身内から疎遠となった60代女性		居住支援をして間もなく、「退去します」と荷物をまとめて退去したあとの部屋にある残置物の撤去や電気・ガスなどのライフラインの解約などの手続きをした
身体が不自由な80代男性	ケアマネジャー、遠方の娘、本人	町医者から大きな病院への通院に際して、身体が不自由な父親の通院などを心配した、遠方に住む娘がケアマネジャーに相談し、ケアマネジャーから通院同行（同行援助）の相談を受け、本人と面談した結果、その後は受付や検査や診察の同席などの同行援助を行い、その結果をLINEにて診察結果などの報告書をPDF化して結果報告をした
DV被害による居住支援をした30代女性	本人	子供に対するDVや犯罪行為により身柄拘束をされた内縁の夫から逃げる（退避）ために居住支援をした後に、刑務所に収監された内縁の夫から本人に復縁を迫るような手紙が届いたことから、本人並びに子供たちの身の安全を確保するためにも、本人が居住する警察署に相談の同行をして、内縁の夫が出所した後の対策などの相談をした
身体的な衰えがある単身生活の90代女性	ケアマネジャー、遠方の娘、本人	遠方に住む娘は、母親（本人）が身体的な衰えと若干の認知症の疑いがあることから買い物同行支援（同行援助）をしてくれるところがないかをケアマネジャーに相談しているなか、ケアマネジャーより私に買い物などの生活支援の依頼があり、その後、娘さんと本人からの承諾を得て買い物同行支援（同行援助）をすることになった

<p>暴力的な息子から距離を置くために、転居をした70代女性</p>	<p>本人</p>	<p>本人は、買い物などの移動手手段として自転車を利用していることから「自転車のヘルメットと後ろのカゴを購入したいがどんなものが良いが分からないので一緒に探して欲しい」と依頼があり、自転車にてヘルメットと後ろのカゴを購入したが、カゴの取付を自転車にてやると費用もかかることから、私にて取付をさせていただきました</p>
<p>身寄りがない知的障害の20代男性</p>		<p>同人の通帳や銀行印などを預かって金銭管理をしているなか、通帳記帳をしたところ「ガス代が高額」であったことからガス会社に機器の以上の有無などの確認してもらい、更に本人から日常のガスの使用状況を聞くとともに、その状況を相談員やヘルパーの代表者に情報共有をさせていただきました</p>
<p>就労している知的障害の20代男性</p>	<p>本人</p>	<p>アパートから職場までは自転車を利用していたが距離もあることから、本人から「原付を持ちたい」と相談を受け、本人の職場の担当者に原付取得の有無を確認し了承を得たことから、原付の購入やナンバープレートの取得などの手続きをし、原付を購入後は、バイクを所持している私とツーリングしながら、原付の運転マナーなどを指導させていただきました</p>
<p>以前、居住支援をした犯罪歴多数の50代男性</p>		<p>再度の居住支援をしたなかで、生活をするアパートは交通の便が良くなく、そのため買い物などの移動手手段のために中古の自転車（防犯登録も済み）を用意させていただきました</p>
<p>身寄りがない外国（日系2世）の70代女性</p>		<p>居住支援をしてアパートにて安心できる生活を送れるようになったものの、持っていた通帳の暗唱番号がロックされ使用できない状態であったことから、通帳が使えるように同行支援をさせていただきました</p>
<p>身寄りがない精神的と身体的な障害がある生活保護の60代女性</p>	<p>本人</p>	<p>衣服など生活品の購入を節約するため安売りで有名なディスカウントストアに行くために、移動支援と買い物の同行支援をさせてもらった</p>

<p>息子夫婦と同居している車椅子生活の70代女性</p>	<p>息子夫婦</p>	<p>夕方過ぎに急な体調不良になり病院に連れて行きたくても、仕事や子育てや車椅子であることから通院同行の依頼があり、その対応をすると共に、診察や各検査での付き添いも依頼され、息子夫婦も家のことや子供達のことでも安心してできることができました</p>
<p>身寄りがいないが外国（日系2世）の70代女性</p>		<p>安心して生活することができる住まいは確保したものの、ひとりで話し相手も無く生活をしなければならないことから、「孤立孤独の防止」として、以前、同じアパートに居住支援をした同年代の身寄りがいない女性に声をかけ、その後ふたりとも仲良しとなり、一緒に買い物などをする仲となり、両名からも感謝され、更にアパートの大家からも「孤独死防止のためにも有り難いです」と感謝をされました</p>